

【組入投信の運用レポート】

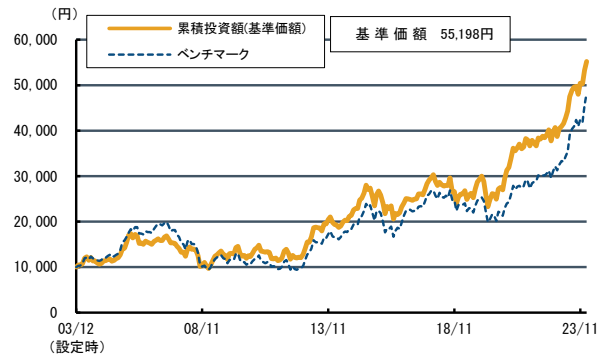
フィデリティ・日本アドバンテージ・ファンドVA

本資料は、変額年金保険の特別勘定に組入れられている投資信託についての運用状況を開示するための参考資料であり、募集を目的とするものではありません。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
 ご契約者が投資信託を直接保有しているものではありません(投資信託を直接購入することはできません)。
 特別勘定に組入れられている投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。
 本資料は、フィデリティ投資株式会社による運用報告を、第一生命保険株式会社より提供するためのものです。
 このレポートの最終ページには、諸費用やご契約者の負うリスクなどぜひご確認いただきたい内容について記載しています。必ず最終ページをご覧ください。内容について十分ご確認ください。

2024年2月版

- ① わが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ② 総合的な個別企業分析により、割安な状態にある企業を選定し投資を行ないます。

設定来の運用実績 (2024年2月29日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定前日目を10,000円として計算しています。
 ※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント (2024年2月29日現在)

当月の東京株式市場は、日米企業による好調な決算発表などが手掛かりとなっており、半導体関連株をはじめとする主力株が力強く上昇し、日経平均株価は史上最高値を更新しました。
 米国で早期の利下げ期待が後退したことなどから一進一退の推移で始まりましたが、主要企業による好決算や株主還元策の発表が続いたこと、また日銀副総裁の発言を受けてマイナス金利が解除された後も緩やかな金融環境が続くと見方が広がり、それに伴って円安が進んだことなどを背景に、株価は騰勢を強めていきました。大手テクノロジー株の好決算を材料に上値を迫る米国株と共に、日本株も半導体関連株をはじめとする主力株を牽引役として上昇する展開が続く、月半ばには日経平均株価が38,000円台を回復、その後は相場の過熱感が意識されて伸び悩んだものの、人工知能(AI)向け半導体大手から好決算が発表されると急伸し、22日に日経平均株価は1989年12月に付けた過去最高値を突破して初めて39,000円台に到達しました。その後の株価推移は緩やかとなりましたが、日経平均株価は39,000円台を維持したまま月を終えました。
 月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+4.93%、日経平均株価は+7.94%でした。
 ※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2024年1月31日現在)

資産別組入状況		市場別組入状況		組入上位5業種	
株式	98.5%	東証プライム	96.3%	電気機器	20.2%
新株予約権証券(ワラント)	-	東証スタンダード	2.2%	銀行業	9.5%
投資信託・投資証券	-	東証グロース	-	建設業	8.1%
現金・その他	1.5%	その他市場	-	輸送用機器	7.4%
				機械	6.4%

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
 * 業種は東証33業種に準じて表示しています。
 * 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

商品概要	
形態	追加型株式投資信託/国内株式型(一般型)
投資対象	わが国の株式等
設定日	2003年12月22日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年4月30日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン (2024年2月29日現在)						
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.59%	9.52%	11.27%	34.89%	63.54%	451.98%
ベンチマーク	5.73%	13.70%	17.84%	44.73%	86.63%	382.55%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
 ※ベンチマーク: Russell/Nomura Total Market Value インデックス(配当金込)*
 *Russell/Nomura Total Market Value インデックス(配当金込)とは、Russell/Nomura 日本株インデックスのバリュースタイル指数です。Russell/Nomura Total Market インデックスの低PBR銘柄で構成されており、Russell/Nomura Large Cap Value および Russell/Nomura Small Cap Value インデックスを含みます。Russell/Nomura Total Market Value インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Total Market Value インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びRussell/Nomura Total Market Value インデックスに関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)	
第16期(2019.05.07)	0円
第17期(2020.04.30)	0円
第18期(2021.04.30)	0円
第19期(2022.05.02)	0円
第20期(2023.05.01)	0円

純資産総額 49.5 億円 (2024年2月29日現在)

組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース) (2024年1月31日現在)			
	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.1%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.4%
3	伊藤忠商事	卸売業	4.1%
4	ソニーグループ	電気機器	3.3%
5	住友林業	建設業	3.1%
6	スズキ	輸送用機器	2.9%
7	関西電力	電気・ガス業	2.9%
8	日立製作所	電気機器	2.8%
9	信越化学工業	化学	2.8%
10	東京エレクトロ	電気機器	2.6%

(組入銘柄数: 73) 上位10銘柄合計 34.1% (対純資産総額比率)

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

特にご確認いただきたい重要事項【引出機能付災害4割加算型変額年金保険】

■運用リスクについて

- この商品は、年金額、積立金額、解約返還金額、給付金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて増減する仕組みの、保険料一時払方式の変額年金保険(生命保険)です。引受保険会社は、第一生命保険株式会社です。
- ファンド(特別勘定)での資産運用においては主に投資信託に投資しますので、その運用においては運用リスクを負うことになります。この商品では、資産運用の成果が直接、積立金額、解約返還金額、死亡給付金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクがともにご契約者に帰属することとなります。なお、積立金額、解約返還金額、年金原資、年金額に最低保証はありません。
- 積立金額は、ファンド(特別勘定)で運用・管理されます。ファンド(特別勘定)は、実質的に国内外の株式・債券等を投資対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価格の下落」等が基準価額の下落要因となります。
- 基準価額の下落は直接、積立金額、解約返還金額、年金原資などに反映されるため、積立金額、解約返還金額、年金原資が一時払保険料相当額を大きく下回ることがあり損失が生じるおそれがあります。

■ご負担いただく諸費用について

お客さまには以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

(1) 運用期間中

①すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	金額	備考
保険契約関係費 死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用です。	ファンド(特別勘定)の資産総額に対して年率 1.551%	ファンド(特別勘定)の資産総額に対して年率1.551%/365日を毎日控除します。
運用に関わる費用 各ファンド(特別勘定)の運用に関わる費用として、投資対象となる投資信託にかかる信託報酬などです。	信託報酬は、(年率)1.76275%が上限です。 (別表をご覧ください。) ※運用手段の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。	投資対象となる各投資信託の信託報酬は、信託財産の額に対して所定の率(年率)/365日を毎日控除します。

※上記の信託報酬の他、以下の諸費用を間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。

- ・有価証券の売買時の売買委託手数料および有価証券取引に係る手数料・税金、先物・オプション取引に要する費用、信託財産留保額、当該手数料にかかる消費税等相当額および外貨建資産の保管等に要する費用(マザーファンドで運用する場合も同様)等

(別表)各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等

特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等※	特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等※
日本株グロースファンド	年率0.957%(税抜0.87%)を上限	米ドル短期ファンド	管理報酬等 年率0.91%(上限)
日本株バリューファンド	年率1.65%(税抜1.50%)	日本リートファンド	年率0.704%(税抜0.64%)
日本小型株ファンド	年率1.463%(税抜1.33%)	マネーファンド	元本総額に対し年率1.0%以内
日本株インデックスファンド	年率0.3685%(税抜0.335%)	Dバランスファンド	年率0.29975%~1.76275%(税抜0.2725%~1.6025%) うちアセットマネジメント One 株式会社分の費用は0.29975%程度(税抜0.2725%程度)です。
グローバルグロースファンド	年率1.43%(税抜1.30%)		
グローバル債券ファンド	年率0.77%(税抜0.70%)		

※上記信託報酬は、2023年12月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。なお、()内は消費税抜きの額を表示しています。

②特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	金額	備考
保険契約維持費 基本保険金額が200万円未満の場合にかかる費用です。	毎月400円	月単位の契約応当日(契約日を含みます)始に積立金から控除します。
解約控除 契約日(増額日)から経過10年未満で解約・減額された場合にかかる費用です。	契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に対して6.0%~0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・減額時にお支払いする積立金から控除します。

(2) 年金受取期間中

項目	年金の種類	金額	備考
保険契約関係費	確定年金	支払年金額に対して年率1.0%	第2回以後の年金の年金支払日に責任準備金から控除します。
	保証期間付有期年金		
	保証期間付終身年金		
		保証期間中:支払年金額に対して年率1.0% 保証期間経過後:支払年金額に対して年率2.0%	

※上記の率等は年金支払開始日の時期により異なることがあります。

■その他ご留意いただきたい事項について

- この商品では、年金原資、年金額に最低保証はありませんので、お受取りになる年金の合計額が一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。
- この商品では、ご契約日(増額日)から10年未満に解約・減額をされますと解約控除がかかります。また、解約返還金額には最低保証はありませんので、一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。